

「つなぎ編み」

私は絵を描くことが大好きです。これまでもこのコラムで自分の絵を紹介してきましたが、実は私の趣味はそれだけではありません。写真、裁縫、音楽、そして寒い季節になると特によく手に取るのは、かぎ針編みです。

かぎ針編みと聞くと、暖かい帽子やマフラーを思い浮かべる人も多いと思います。かぎ針編みは明るい照明がなくても、慣れてくると指先の感覚だけで編み進められるところが好きです。雪に包まれ、外が静まり返る夜に、心を落ち着かせながら一目一目編んでいく時間は、国際交流員としての仕事にもどこか通じるものがあると最近感じています。

私にかぎ針編みを教えてくれたのは叔母でした。近くに住んでいた叔母には、私と年齢が近い子どもが3人いて、よく遊びに行っていました。叔母には娘がいなかったこともあり、私をとっても可愛がってくれました。

教師をしていた叔母が最初に教えてくれた編み図(編み物の設計図)は「ミミズ」でした。アメリカでは、教師の象徴として「リンゴ」のモチーフがよく使われます。そして、日本で読書家を「本の虫」と呼ぶように英語では“Bookworm (本のミミズ)”という表現があります。リンゴからひょっこりと顔を出すミミズはアメリカではおなじみの「読書好き」を表しています。

ノヴァ・スキッパー

編み物に慣れてきた私が次に出会ったのが、日本生まれの「あみぐるみ」でした。昔編んだミミズとは違い、その可愛いらしさに心を奪われました。数年後にはアメリカでも「あみぐるみブーム」が起りましたが、日本語を学んでいたおかげで、ブームより前にその世界に触られたことは、私にとってとても幸運な経験でした。

私はアニメやゲームをきっかけに日本と出会い、アメリカで始めた趣味がいつのまにか日本との繋がりを深めるものになっていました。今、つがる市で暮らす私の役割は、ここで得た出会いや経験を、母国へと繋ぐことだと思っています。このコラムも、その小さな一目です。来日してから最初に編んだあみぐるみがリンゴだったことは、初めて作ったミミズを思い出させ、津軽地方を象徴するものでもあります。



リンゴからひょっこりと顔を出すミミズ (右)

下水道・浄化槽に関するお知らせ

【公共下水道供用開始】

4月1日より、木造柴田地区・中館地区の一部で新たに供用開始され、各家庭の汚水を下水道に流すことができるようになります。供用開始区域の詳細については、市ホームページをご覧ください。

【下水道使用に伴う届け出】

転入・転居や引っ越しされる方、使用者等が変更となる場合は、下水道課までご連絡ください。**休止の連絡がない場合は、未使用でも使用料が徴収されます。**

【下水道工事に伴う融資斡旋制度】

水洗化工事を行う方へ融資斡旋制度を実施しておりますのでご利用ください。

融資限度額：1工事当り限度額100万円以内（供用開始の日から5年経過した場合は60万円以内）

償還期限：5年以内（融資の利子については市が助成します。）

【令和8年度合併処理浄化槽補助金制度】

下水道区域外の地区において、合併浄化槽を新設される方、または単独浄化槽やくみ取りからの切り替えの場合、補助金が交付されます。令和8年度より5人槽の補助額が増加しますので、ぜひご利用ください。

浄化槽の大きさ	補助額
5人槽	514,000円
7人槽	574,000円
10人槽	760,000円

〈注意事項〉

- 補助の申請は、必ず着工前に行ってください。申請前の着工は補助対象となりません。
- 補助の申請をする前に下水道課に対象区域、当該年度の実施可能基数をご確認ください。

【申請期間】 4月1日～10月30日

【問い合わせ先】 下水道課 電話42-2111（内線371、374）

長寿大学のご案内

学習活動で教養を習得し、仲間づくりを通じて充実した毎日を過ごすことを目的に「長寿大学」を開催します。
学習予定（全7回） ※各日ともに受け付けは9時20分から

開催日	時間	講義内容	講師
5月21日(木)	10時～	開講式	
	11時～12時	津軽三味線講演会	令和7年度津軽三味線全日本 金木大会 仁太坊賞受賞 佐藤 晶 氏
6月18日(木)	10時～11時30分	どうやって使うの？介護保険	市地域包括支援センター
7月23日(木)	10時～11時30分	ものづくり ～勾玉（まがたま）～	市教育委員会文化財課
8月20日(木)	10時～11時30分	永代供養について	村井 麻矢 氏
9月17日(木)	10時～14時	移動学習 ゆったり温泉(鶴田町)	
10月8日(木)	10時～11時30分	健康運動を始めませんか？	県立中央病院健康推進室 西村 司 氏 境 沙織 氏
11月13日(金)	10時～	閉講式	
	11時～14時30分	反省会（しゃこちゃん温泉）	

主会場：松の館

入学資格：市内在住のおおむね60歳以上の通学可能な方

受講料：1人500円（傷害保険料を含む）移動学習および反省会は別途実費が必要です。

申込方法：入学を希望する方は、保険加入の都合上4月28日(火)までに500円を添えて、運営委員にお申し込みください。運営委員がわからない方、いない地区の方は、社会教育スポーツ課へお申し込みください。

【問い合わせ先】社会教育スポーツ課 電話49-1200

2026年度「教育・福祉・環境」助成金募集のお知らせ

公益財団法人みちのく・ふるさと貢献基金では、地域の発展や地域貢献を目的に、県内の個人、団体、NPO法人、企業などに助成金の交付を行っています。

助成金額	必要費用以内で、100万円を限度とします。
対象者 対象団体	原則として1年以上の継続的、組織的活動実績のある個人、団体、NPO法人、企業など
応募資格等	(1) 青森県の自然、地域・生活文化、歴史、風土などの地域資源を活用・創造する活動や、医療福祉・環境に関連する活動を行うこと (2) 2027年1月1日～2027年12月31日までに実施する活動であること (3) 助成金給付後、活動・研究報告書を提出できる先であること ※次の団体等は対象外とします。 ・過去3年以内に当財団の助成金を受けた団体等 ・政治活動または宗教活動を目的とする団体等
応募方法	4月1日(水)～5月31日(日)までに申請受付票でエントリーの上、6月30日(火)までに申請書類をメールまたは郵送してください。
応募先	〒030-0821 青森市勝田一丁目3番1号 公益財団法人みちのく・ふるさと貢献基金 ※応募要項と申請書類はホームページ（右記QRコード）からダウンロード可能です。



【問い合わせ先】

公益財団法人みちのく・ふるさと貢献基金事務局 担当 小山内・川村 電話017-774-1179

令和8年6月1日

経済センサス 活動調査

経済の
国勢調査

令和8年6月1日現在で、経済センサス活動調査を実施します。この調査は統計法に基づいた報告義務のある基幹統計調査で、日本の経済活動の実態を明らかにするものです。調査結果は、まちづくりなどの基礎資料のほか、民間事業者の方々の経営の参考資料としても広く活用されていますので、回答へのご協力をお願いします。

- ▶ 全国すべての事業所・企業が対象です。
- ▶ 4月から5月にかけて調査票をお届けします。
回答はインターネット回答がおすすめです。
- ▶ 回答いただいた内容は統計作成の目的以外(税の資料など)に使用することは絶対にありません。
- ▶ 詳細は、経済センサスキャンペーンサイト(QRコード)をご覧ください。



【問い合わせ先】地域創生課(内線353、354)

家屋に係る届け出

家屋を取得した場合、建物表題登記をする義務があります。何らかの事情で未登記状態となっている家屋に変更がある場合は、税務課に届け出をしてください。税務課では現在未調査家屋の把握に努めており、課税台帳と違いがあった場合は調査に伺うことがありますので、ご協力くださるようお願いします。

- ▶ 対象：①未登記家屋の所有者が変わったとき(実印と印鑑証明書が必要となります) ②家屋を取り壊したとき ③家屋を新築・増築し、まだ市の調査を受けていないとき
- ▶ 届け出：税務課窓口にある用紙に必要な事項を記入し、届け出してください。法務局で滅失登記をした場合は届け出の必要はありません。

【問い合わせ先】税務課(内線213)

「(仮称)五所川原市浦・中泊ウィンドファーム事業」 の公告・縦覧

環境影響評価法に基づき、「(仮称)五所川原市浦・中泊ウィンドファーム事業 計画段階環境配慮書」を公告・縦覧します。

▶ 事業者の名称・代表者氏名および事業所の住所

コスモエコパワー株式会社 代表取締役社長 野倉 史章
(東京都品川区大崎1-6-1 TOC大崎ビルディング)

▶ 事業の名称、種類および規模

(仮称)五所川原市浦・中泊ウィンドファーム事業、風力発電所設置事業(陸上)、発電設備出力最大15万瓩

▶ 事業実施区域：五所川原市、北津軽郡中泊町

▶ 関係自治体：五所川原市、つがる市、北津軽郡中泊町

▶ 縦覧および意見書について

①縦覧の場所：五所川原市役所(ふるさと未来戦略課、市浦総合支所、金木総合支所)、つがる市役所(エネルギー政策課、つがる市北消防署)、中泊町役場(総合戦略課、小泊支所)

電子縦覧：<https://cosmo.eco-power.co.jp/news/>

②縦覧期間：3月26日(木)まで

③縦覧時間：各庁舎の開庁時間に応じるものとする。なお、電子縦覧については、縦覧期間中は常時閲覧可能とする。

④意見書の提出：配慮書について環境保全の見地からのご意見をお持ちの方は、書面に氏名、住所およびご意見(日本語)をご記入の上、3月26日(木)までに縦覧場所に備え付けの意見書箱に投函頂くか、問い合わせ先へメール、FAXまたはご郵送ください(当日消印有効)。

【問い合わせ先】

コスモエコパワー株式会社 事業開発2部(担当)佐久間、池田

〒141-0032 東京都品川区大崎1-6-1 TOC大崎ビルディング

電話03-5487-8561 FAX03-5487-8570 メール：jigyo-kaihatsu@eco-power.co.jp

市役所エネルギー政策課 電話42-2111(内線357)